

「お練り祭り」

年代を 超えて交わる 幌（ほろ）の中 右に左に 舞う獅子頭

耳たぶさん

「名桜」

乱世より 飯田の土地を 見続けた 令和に咲きぬ 安富桜

ペフさん

「オーケストラと友に音楽祭」

名古屋フィル 飯田へ期待を 胸に秘め 心奏でる プロの交響曲

（シンフォニー）

アターシャ・オナゴスキーさん

「そらさんぽ天竜峡」

眼下には ざざ虫電車と 舟下り 眺望最高 そらさんぽかな

川柳おじさん

「エスバード」

水引も 宙への夢も 集う場所 飯田の叡智 未来を拓く

ラズうさきさん

「TOJ」

焼き肉の 香る山々 走り抜く TOJと 応援の声

ラズうさき母さん

「丘の上」

街並みは 碁盤の目なる 小京都 思い出だらけ シン丘の上

照れマークさん

「風越山」

車窓から 見えるシンボル 風越山 飯田に帰省 したと実感

アターシャ・オナゴスキーさん

「天竜川」

伊那八幡・天龍峡の港から 河川に響く 舟下りの櫓

アターシャ・オナゴスキーさん

「猿庫の泉」

深き山 水湧きたたえ 人集う 四季折々を また楽しまん

ラズうき母さん

「水田」

寂しいか 草が伸びてて 荒れ放題 田んぼの名残 案山子の手足

川柳おじさん

「ダム」

森の奥 静かに暮らし 支えつつ 和みの時も 与えるダムか

ラズうきさん

「花火」

夜に咲く 週末ごとの火の華を 見られる幸せ 有難きかな 恭子

「焼肉」

牛に豚 鶏(とり)におたぐり ジビエ肉 メ(しめ)はジンギス

ラムだっちゃっ！

アターシャ・オナゴスキーさん

「伝統野菜」

源助を 高齢夫婦 育てつつ 軽トラ荷台 積む初冬

メガランチョおじさん

「人形劇フェスタ」

人形で 世界と飯田が 結びつく 言葉の壁こえ かよわす心

いばらき姫さん

「りんごん」

あしなみを 揃えて踊る 夏の夜(よる)

掛け声あわせ ホイオイなそれ！

虫の呼吸さん

「盆踊り」

踊り(をどり) 舞う しずしずと行く 時代(とき)を越え

精霊たちも ともに踊らん

ラズうさ母さん

※「をどり」はアターシャ・オナゴスキーさんのアイデアです

「秋祭り」

幼き日 指輪にはしやぎし 秋祭り 歓声なきまま 花火上がるや
ラズうさきさん

「飯田線」

笑顔舞う 飯田線には 夢を載せ 秘境駅にも 都会にも行く
照れマークさん

「松川町」

清流に フルーツたわわ 実りゆく ごぼうとポーク 松川町よ
照れマークさん

「大鹿村」

ろくべんが 大鹿歌舞伎を 引き立てる 騒動あれど
おシャシャのシャンよ

照れマークさん

「菱田春草」

誕生の生家・春草公園 作品美博(びはく)・墓地泊心寺(はくしんじ)
アターシャ・オナゴスキーさん

「売木村」

高原の 利点を活かした 農作物 寒い時には走れ！うるのすけ
長野県民さん

「根羽村」

つつじ狩り 月瀬の杉と 茶臼山

急坂なれど ネバーギブアップ

照れマークさん

「野底山森林公園」

木々の中キャンプにフェスに 松払い

モリアオガエルも 笑顔の野底

ラズうき母さん

「高森町」

すだれ柿 ホタル・獅子舞 富本銭

何よりも人 あったかもりまち

かきまるくん

「丘フェス」

バーチャルも リアルも楽しい丘のフェス

新旧飯田 カオスの世界

長野県民さん

「豊丘村」

豊かさを 広げ続ける 美し(うまし)丘

キャビア 自転車 魔女にもなれる

ラズうきさん

「紅葉」

照り返す 朝日に紅葉と市田柿 朱色に染まり 飯田輝く

アターシャ・オナゴスキーさん

「飯田創造館」

人々の 心集まる 館（やかた）から花、書、歌と 思いあふれて

ラズウき母さん

「飯田市立動物園」

ホツとする 動物園だ 生き物を 観てると心 なごむ場所よ

メガランチョおじさん

「遠山郷」

霜月に 遠山郷に 祭だね 帰省する友 懐かしい顔

メガランチョおじさん

※遠山郷観光協会 菅原慎一さん選出につき、既出の頭文字

「りんご並木」

そこからは 大火の歴史 人々が 長く紡いで りんご実る日

ラズウき母さん

「天竜峡」

名勝に 指定されたる 天竜峡 流れは激し 景観は良し

照れマークさん